

<川越市>

「川合善明市長当選」

多選4期目の「おれ様」劇場開幕

新年から「裁判3本立て」

1月24日、4期目の川合善明市長が誕生した。対立候補だった新風・川目武彦氏に期待を寄せた市民も少なくはなかったが、そこは「小江戸」川越である。

自ら制定した多選自粛条例を退けてまで出馬した大義なき、名ばかりの政治家であっても「市長さんとの長いおつきあい」を評価する地盤(後援者)に、新しい風はお呼びではないようだ。だが本紙としては、引き続きの川合市政は反面喜ばしいことである。万一にも川合善明氏が落選していれば、「おれ様」市長主演の独り芝居の批判、糾弾を止めなければならなかったからだ。

川合市長には現在、一般市民を相手の訴えた複数の訴訟があり、川越市が被告の住民訴訟も係争中だ。昨年末の議会に提出された「蔵里」指定管理者選定では新規事業者・株式会社TKMが全会一致で否決された川合市長は、4期目当選の祝い酒どころか、議会で厳しく政治責任を問われることになるだろう。

投票率「22%」の政治過疎

今回の市長選の得票数は川合善明氏38,465票、川目武彦氏24,613票で投票率は過去最低の22.05%となった。川合氏は前期市長選での得票56,597票を大きく

下回り、全体の投票率も**7%ポイント**下げた。コロナ禍に加えて投票日当日の悪天候も影響したと見られるが、相対的には市民の**「政治的無関心」**にますます拍車がかかっているとも言えるだろう。選挙のたびに川合市長に投票する後援者は、川越市民というよりも**商工・建設・医療業界**などの**既得権益層の票田**というのが実態である。

前回本紙記事にも触れたとおり、川合氏はこれで**4期目となる市長**だということに、一般川越市民には名前さえあまり馴染みがない。同市の統計によればこの**60年で世帯数は7倍以上に増加**し、現在でも転出よりも転入する人口が多い。衛星都市化により市外からの**「移民」**が増えた川越市では一般市民には市長の存在感が希薄でも老舗の商工市民層が、世襲政治家でもある川合氏を支える小さな地盤となっているのだ。

角度を変えて、この1月に執行された他の自治体での選挙概要をみてみよう。

例えば、今月17日に投開票された**沖縄県嘉手納町議選**の投票率は**64%**を超える驚異的な数字だ。同じく17日の**宮古島市長選**では投票率**65%超**で過去最低だという。米軍基地問題などで常に市民の政治意識が高い沖縄だからこそその数字と思われるかもしれないが、関東に目を転じてやはり17日が投票日だった千葉県大多喜町議選では**73%を超える投票率**でこれでも前回選挙よりも**7ポイント以上も下げた**。

人口21万人の群馬県**伊勢崎市長選挙**の投票率も**30%を超えている**。

これらの統計を見れば、人口35万人の**川越市長選挙**で**22%**という投票率は、殆ど末期的な政治状況だ。首長は自分が行っている行政について住民に広く関心を抱かせてこそ本物の政治家なのである。**嘉手納町や宮古島市・大多喜町・伊勢崎市**などにおいて、川越市より遥かに高い投票率になるのは、住民が首長の政治に期待するからだ。

その意味で、市議を辞してまで**「アウェイ」**の地盤に挑み、民主政治に賭けた若き侍・川目武彦氏は、新人にも関わらず**24,613票を得た**のであり、**大健闘**と言える。4年後の市長選では、今回の選挙で沈黙した**「80%近い棄権票市民」**が目を覚ますに違いない。

新年から不条理裁判「3本」立て

さて、市長選挙投票日3日前となる**1月21日**、本紙記者は川合善明氏が原告となっている**裁判3本立てを傍聴**した。昨年から継続している市長が市民と市議を相手取って訴えている、明らかな**スラップ訴訟**（嫌がらせ訴訟）である。

改めて3本立て裁判について纏めると以下のようなになる。

1. **原告・川合善明** **被告・小林薫川越市議**

小林市議のブログで、本紙の過去の川合糾弾チラシの一部が画像として掲載されたことを「名誉毀損だ！」と川合氏が訴えた裁判。当該の糾弾チラシについては川合氏を官製談合疑惑で、さいたま地検に告発した市民団体「コレクト行政」に対する川合氏原告の名誉毀損裁判で、すでに一定の評価がされており、新たな名誉毀損の材料になりようがない。

2. **原告・川合善明** **被告・川越市民女性A氏**

川合氏が直接、住民訴訟原告市民らに対して、市民らの代理人弁護士を無視し住民訴訟について尋ねる文書を郵送したことは問題であるとして、本紙社主・松本州弘が埼玉弁護士会に川合氏の懲戒請求をしている件で、松本が市民女性A氏から聞いた話の内容についても、川合氏の弁護士としての行状として問題があると判断して、追加で懲戒請求しているが、川合氏は懲戒請求者の松本ではなく、被害を松本に話した市民女性A氏を相手取って不法な懲戒請求をしたと訴えた裁判。

この場合、懲戒請求が不当だと主張するならば、川合氏が訴える相手は本紙・松本だ。

それを川合氏は市民女性A氏が松本を手足のようを使って懲戒請求したという屁理屈で市民女性A氏だけを訴えている。常軌を逸した裁判としか言いようがない。

川合氏は、「弁護士」「市長」のイメージからほど遠い不条理裁判劇を自作自演中だ。

3. **原告・川合善明** **被告・住民訴訟原告市民4名**

不正市道認定について川越市を訴えた住民訴訟原告市民22名のうちの4名だけを選んで「住民訴訟を起こしたことが不法行為だ」と川合氏が市民らを訴えた、日本行政史上初にして驚天動地の「トンデモ裁判」。現に住民訴訟はさいたま地裁で審理中であり、その住民訴訟が不法訴訟だというならば、まさにその裁判で反論することだ。

しかも、住民訴訟でも被告は川越市（川合市長）なのであって個人ではない。川合氏は被告が裁判に負けたときに賠償責任を求められることになる立場に過ぎない。

川合市長として不正を行っていないければ、川越市は住民訴訟に勝つから、川合氏が損害賠償責任を問われることを心配する必要はない。それを、川合氏は私人として住民訴訟原告4名だけを訴えた。

川合氏がこの4名を被告に選んだ理由は、川合氏の裁判での主張によれば、前回市長選挙で川合氏の対抗馬だった元埼玉県議・渋谷実氏に近しい市民と判断したからだそうである。何とも執念深い、何とも度量が狭いことか。これがわが川越市の行政のトップ、川合市長の質であり、度量の広さ（狭さ）だ。

以上の3本立て裁判は、すべての原告が川合氏で、すべての被告代理人が清水勉弁護士と出口かおり弁護士であり、裁判長もすべて同じ齋藤憲次判事という事情から、毎回同じ期日にまとめて法廷が開かれている。

まとめてお得なスーパーの特売品ではあるまいし、もはや失笑を禁じ得ないほどの異常な状況が続いている。

公権力を笠に着た弱者イジメの異常な市長

それを支援する「異常市民」たち

この日の3本立て裁判も、前回まで同様に原告・川合氏の主張が空転するばかり。

市民女性A氏を被告とする裁判に至っては未だに原告の主張は迷走し、裁判長も「次回までに主張を整理してきて下さい」と言うしかない状態。本紙の憶測だが、仮に原告が現職市長でなければ、このような内容の訴えは即決裁判に等しいほどの迅速さで棄却されたのではないか。「こんなことを事件にしないでくれるか？」というのが裁判官の本音ではなかろうか。

この3つの裁判は、司法を逆用した川合氏の意趣返しでしかない。

小林市議が訴えられた裁判では、原告・川合氏は小林市議のブログが名誉毀損だと言っている。これは最近よくニュースで見かけるようになった、SNSでの転載、リツイートによる名誉毀損事件に類する被害申告である。しかしこの裁判は、原告は市長で被告が市議という点だけでも、一般的なSNS名誉毀損事件とは根本的に質が違う。市議が市長の政治姿勢や疑義を追及することは、それが議会の外での言論活動であっても妨げられるものではない。また批判された市長も、それに対する反

論なり見解を議会や定例会見などの公の場で述べるのが普通であり、それで十分だ。何よりも日常の市長としての政治活動自体が**信用の基盤**になっていれば、反論や会見などさえする必要がないはずである。

市長が自分にとって**気に入らないと思った市民や議員**を裁判で訴えるという姿勢は、権力者として傲慢だという言い方もできるが、それ以上に日常の市長としての政治活動自体が市長としての信用の基盤になっていないことを自ら認めている姿そのものである。被告にされた市民や議員は、**法務費用と時間の負担**を強いられ理不尽に消耗させられる。原告は川越市長として、文字通り市民の血税で食っている。その市長が**納税者である市民と市民代表である市議**を、平然と訴えているのだ。

自らの政治姿勢を追及され…ときに罵倒されようが…その反論なり説明責任を果たすことが**公人たる市長の職責**である。**市民を個別に選別**しては、裁判にかけるなどは、どれだけ**異常な市長**であることか。

市長支援者市民らよ。どうぞ、これらの裁判を冷静に見ていただきたい。

上記**3本立て裁判**のすべては、もしも川合氏が**市長**でなければ提訴されることはなかっただろう。川合氏の言動のすべては、市長という**権力の毒の発露**に過ぎないからである。

本紙からも川合氏に4期目市長当選の祝言に替えて偉人の格言を送っておこう。

『権力と威厳を持ち過ぎる者は、いつでも最後には人々の嘲笑の的となる』

チャーリー・チャップリン

もっとも、川合市長に**「威厳」**は微塵も感じられないが…。